

<Journal Paper>

1. (Keynote) Y Ohishi, "Ultra-broadband optical amplifiers for WDM", ITCOM2003, Proc. of SPIE-Active and Passive Optical Components for WDM Communications III, Vol. 5246, pp. 163-173, September 2003, Orland, Florida, USA.
2. Y. Ohishi, "Status of advanced photonics materials research", in Materials for the Future, Materials Research Center, Indian Institute of Science, pp. 14, Bangalore, India, March 2004.

<Proceedings>

1. 山内宏樹、鈴木健伸、大石泰丈, "高効率光増幅媒体のための  $\text{Er}^{3+}$ ホストの検討", 第 64 回応用物理学会学術講演会, 31a-YH-8, 2003 年 8 月~9 月 2 日, 福岡大学七隈キャンパス
2. (Invited) 大石泰丈, "光ファイバ増幅器開発の現状と展開", The 14<sup>th</sup> Meeting on Glasses for Photonics, 2004 年 1 月, 日本教育会館, 東京
3. G. Senthil Murugan, 大石泰丈, "Raman scattering characteristics of a new tellurite glass system", 先端フotonテクノロジー研究センター第 5 回シンポジウム, 豊田工業大学, 名古屋, 2004 年 3 月.
4. 大石泰丈, "広帯域光制御材料の研究", 先端フotonテクノロジー研究センター第 5 回シンポジウム, 豊田工業大学, 名古屋, 2004 年 3 月.
5. G. Senthil Murugan, 大石泰丈, "New tellurite-based glasses for photonics device applications", 先端フotonテクノロジー研究センター第 5 回シンポジウム, 豊田工業大学, 名古屋, 2004 年 3 月.
6. 鈴木健伸, 大石泰丈, "ニッケルドープ亜鉛アルミノケイ酸ガラスの室温超広帯域発光", 先端フotonテクノロジー研究センター第 5 回シンポジウム, 豊田工業大学, 名古屋, 2004 年 3 月

7. 山内宏樹、辻正樹、大石泰丈, “重金属酸化物ガラスにおける高濃度添加 Er イオンの発光特性”, 第 51 回応用物理学関係連合講演会, 29p-ZS-5, 2004 年 3 月 28 日～31 日, 東京工科大学, 東京都
8. 鈴木健伸, 大石泰丈, “Ni ドープ亜鉛アルミノケイ酸塩ガラスの超広帯域発光”, 第 51 回応用物理学関係連合講演会, 29p-ZS-7, 2004 年 3 月 28 日～31 日, 東京工科大学, 東京都
9. Senthil Murugan Ganapathy, 大石泰丈, “Thermal and structural studies of new tellurite-based glasses for photonics devices applications”, 第 51 回応用物理学関係連合講演会, 29p-ZS-8, 2004 年 3 月 28 日～31 日, 東京工科大学, 東京都
10. (Invited)大石泰丈, “次世代光ファイバーコンポーネントを支える未来材料”, 第 51 回応用物理学関係連合講演会, 30p-ZZ-1, 2004 年 3 月 28 日～31 日, 東京工科大学, 東京都

#### <Books>

11. 大石泰丈(分担執筆), 光デバイス精密加工ハンドブック, 第2部デバイス製作応用編 IIモジュール編 第1章通信用 第2節光ファイバアンプ, pp. 555-566, オプトロニクス社, 2003年12月